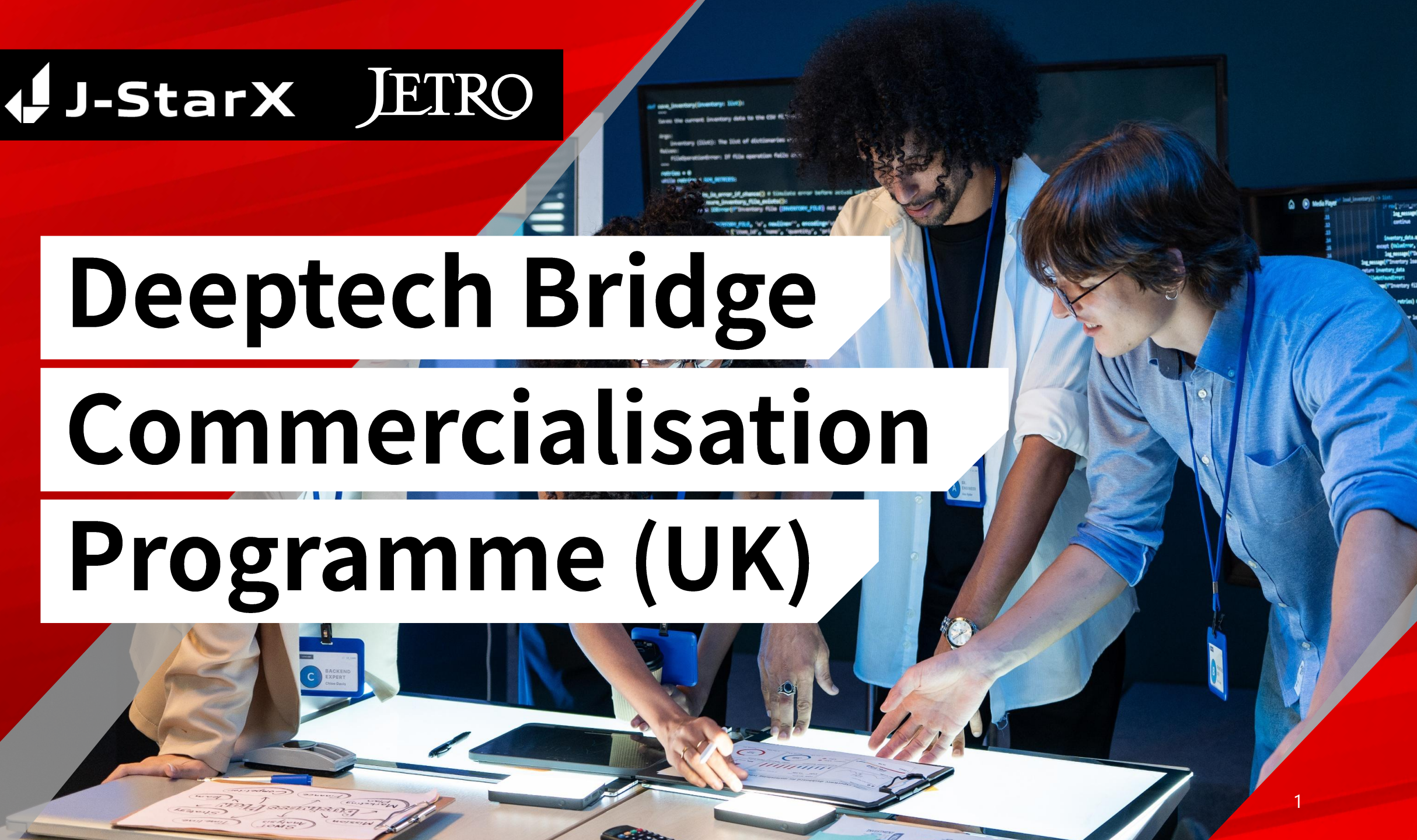


Deeptech Bridge Commercialisation Programme (UK)



INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問合せ先

01 OUTLINE | コース概要

目的

大学・研究機関等の優れた気候・エネルギー分野の研究成果を、単なる起業にとどまらず、創業初期からグローバル展開を前提としたディープテック企業へと発展させることを目指す。英国・欧州の人材や事業化におけるノウハウを活用し、日本の研究者と起業家・事業人材を結び付けることで、国際的な成長が可能なスタートアップ創出を目指す。

1	グローバルを見据えた創業・事業戦略の構築に必要な知識の習得
2	気候・エネルギー分野の欧州・英国市場理解や欧州のスケールアップノウハウや成長モデルの習得
3	起業家・事業人材とのチーム形成支援や創業チームの構築・検証を通じた事業化支援

開催地

東京都内 ※支援機関（ZINC）が来日して実施するため、海外渡航はありません。

主な対象

対象者	- 日本の大学・研究機関等に所属する研究者（博士課程学生も含む）で、事業化につながる研究成果を有していること（IPが大学保有であることも含む）。会社設立の有無は問いません。 - 研究者個人またはチームで応募可能。チームの場合は、共同研究者を含む2-3名程度で、プログラムへの参加にコミットメントできる代表者を定めたうえで、応募してください。
ステージ	プレシード
マイルストーン分類	Explorer
分野	気候・エネルギー関連のハードテック分野を幅広く対象（水素、合成燃料、DAC、蓄電池・エネルギー貯蔵、CCUS、クリーンエネルギーシステム、グリーンケミカル・新素材、アグリテック・フードシステム、産業向けエンジニアリングバイオロジー、ロボティクス、半導体材料、水処理、その他関連分野）
特記事項	応募時点で特許取得・出願は不要。ただし、研究成果に関する知的財産の状況（発明開示の有無、特許出願状況、大学の関係部門やTTO/LTOの関与状況等）について確認します。 本プログラムに参加する起業家・事業人材は、別途募集します。



02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 全体像

※プログラムの実施内容・形式等は変更になる可能性があります
※全日程、使用言語は英語となります



1 国内プログラム: Sprint①



①2026年10月12日の週
又は19日の週(予定)

事業化に向けたロードマップの策定、Go-to-market戦略、知財戦略、英国ならびに欧州市場について、1週間程度のセッションを実施する。また、メンターとの1on1メンタリングを実施する。

2 オンラインプログラム



各Sprintの間の期間

毎週オンラインでのメンタリングのほか、メール等でのフォローアップを参加者に対して随時行う。英国・欧州等の起業家や事業開発人材と研究者（参加者）とのマッチングを継続的に支援。各参加者の技術シーズや事業化構想に応じた人材探索をサポートし、事業化に向けた取組を加速する。

3 国内プログラム: Sprint②～④



②2026年11月下旬
③2027年1月下旬、④3月上旬

各Sprintにおいて、事前に設定したマイルストーンに基づく進捗確認を行うとともに、組成した参加チームごとのニーズ・課題に応じた実践的な事業化支援を行う。Sprint②以降は、メンターを務める起業家が対面で、参加チームの組成や事業開発を支援。また、各Sprint終了時に、次フェーズに向けたレビューを行い、目標や支援方針を策定する。Sprint②～④は3日程度の集中プログラムとして実施する。

4 Showcase



2027年3月上旬

Demo Dayを開催し、各参加チームが、投資家や日英のエコシステム関係者に向けて事業アイデアを発表する。また、個別面談を通じて、協業や資金調達につながるネットワーク構築の創出を図る。

1 国内プログラム: Sprint ①

事業化に向けたロードマップの策定、Go-to-market戦略、知財戦略、英国ならびに欧州市場について、1週間程度のセッションを実施する。また、メンターとの1on1メンタリングを実施する。

定員 最大8者（研究者個人またはチームでの参加）

日程 2026年10月12日の週又は19日の週（1週間程度）

概要

- Go-to-market戦略・知財戦略等に関する講義
- 個別メンタリングを通じた事業化戦略の策定、欧州・英国マーケットを目指す上でのロードマップをメンターと共に検討
- 技術シーズを事業化するにあたっての知識や理解を深めるワークショップの実施

※この段階では起業家・事業人材とのマッチングは実施せず、マッチングのための参加者（研究者）の技術や起業の準備状況等を把握します。

2 オンラインプログラム

英国・欧州等の起業家や事業開発人材とチーム組成に向けたメンタリングを実施。各参加者の技術シーズや事業化構想に応じた人材探索をサポートし、事業化に向けた取組を加速する。

定員

最大8者（研究者個人またはチームでの参加）

日程

各Sprintの間の期間

概要

- ・ オンラインにて継続的にメンタリングを実施。グローバル展開に向けたチーム組成についてのアドバイジングやサポートの提供、ビジネスプラン等のブラッシュアップを行う

※起業家・事業人材候補をオンライン等で紹介しながら適性等を確認するプロセスが入る可能性があります。

3 国内プログラム: Sprint②～④

各Sprintにおいて、事前に設定したマイルストーンに基づく進捗確認を行うとともに、組成した参加チームごとのニーズ・課題に応じた実践的な事業化支援を行う。

定員

最大8者（研究者個人またはチームでの参加）

日程

Sprint②2026年11月下旬

Sprint③2027年1月下旬

Sprint④2027年3月上旬

概要

- 起業家・事業人材候補やメンターが対面で参加し、より発展したチーム形成や事業開発を支援。
- 各Sprint終了時に、次フェーズに向けたレビューを行い、目標や支援方針を策定する。
- 個別メンタリングや全体講義を通じて事業化構想を具体化する。
- Sprint②～④は、3日程度の集中プログラムとして実施する。

4 Showcase

Demo Dayを開催し、各参加チームが、投資家や日英のエコシステム関係者に向けて事業アイデアを発表する。また、個別面談を通じて、協業や資金調達につながるネットワーク構築の創出を図る。

定員

最大8者（研究者個人またはチームでの参加）

日程

2027年3月上旬

概要

- 技術シーズの事業化アイデアを日英エコシステム関係者にピッチ
- 事業立ち上げ後のビジネス展開に繋がるコネクション創出を目指す



Zinc Innovation Partners

URL: <https://innovationpartners.zinc.vc/>

英・ロンドンに拠点を置く、ディープテック領域における欧州トップクラスのベンチャービルダー・VCであり、研究成果からグローバル企業を生み出すことを目的とした体系的なベンチャー創出プラットフォームを運営している。研究成果の事業化から起業家チームの組成、事業開発、プレシード投資までを一体的に支援する独自のベンチャービルディングモデルを有し、大学・研究機関発の技術シーズの事業化に豊富な実績を持つ。気候変動・エネルギー・先端材料・産業技術等のディープテック分野において豊富な実績を有し、科学技術の社会実装を推進する欧州有数のイノベーション創出機関として広く認知されている。

~ ¥6.5bn

deployed into climate
and healthtech
ventures

130+

we have worked with
over 130 founding
teams

7,000+

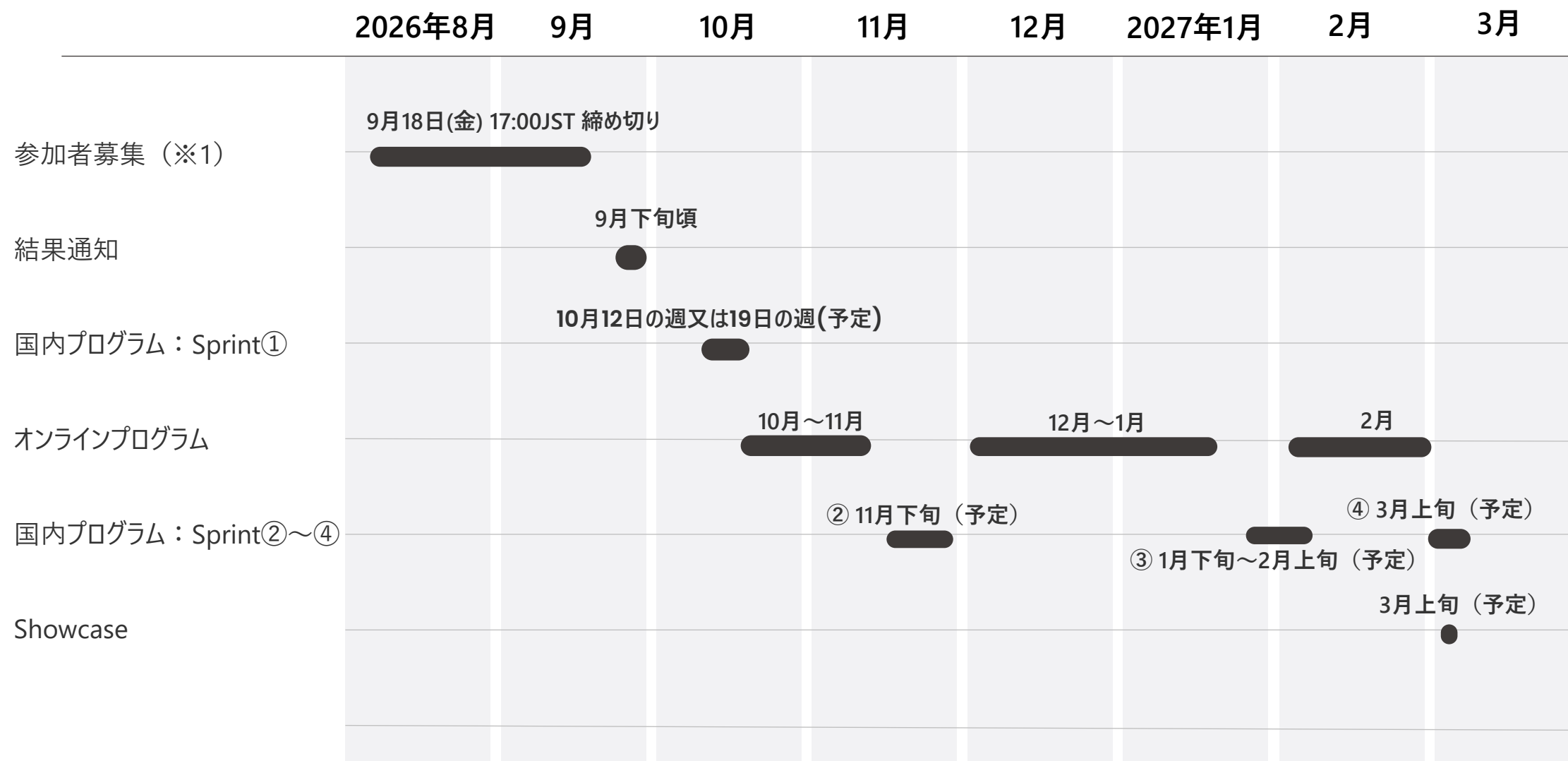
entrepreneur
interactions since
2022

20,000+

innovators in the
Zinc ecosystem

※本プログラムの実施にあたり、株式会社ディープコアおよび株式会社Wecrinが運営支援企業として参画します。

03 SCHEDULE | スケジュール



※1 必要に応じて面談を実施します。面談日程等は後日連絡します

※2 詳細日程は決定次第、参加者に連絡します

定員

8者（研究者個人またはチームでの参加）

※研究者個人またはチームで応募可能。チームの場合は、共同研究者を含む2-3名程度で、プログラムへの参加にコミットメントできる代表者を定めたうえで、応募のこと。

主な対象

対象者	- 日本の大学・研究機関等に所属する研究者（博士課程学生も含む）で、事業化につながる研究成果を有していること（IPが大学保有であることも含む）。会社設立の有無は問いません。 - 研究者個人またはチームで応募可能。チームの場合は、共同研究者を含む2-3名程度で、プログラムへの参加にコミットメントできる代表者を定めたうえで、応募してください。
ステージ	プレシード
マイルストーン分類	Explorer
分野	気候・エネルギー関連のハードテック分野を幅広く対象（水素、合成燃料、DAC、蓄電池・エネルギー貯蔵、CCUS、クリーンエネルギーシステム、グリーンケミカル・新素材、アグリテック・フードシステム、産業向けエンジニアリングバイオロジー、ロボティクス、半導体材料、水処理、その他関連分野）
留意事項	応募時点で特許取得・出願は不要。ただし、研究成果に関する知的財産の状況（発明開示の有無、特許出願状況、大学の関係部門やTTO/LTOの関与状況等）について確認します。

応募要件

プログラム参加者は以下の全ての条件を満たすこと

- 日本に活動拠点のある大学等に所属する研究者（日本国内の大学・研究科機関等に所属する方である限り国籍は問わない）
- 英語の提案資料/商談可能な英語力を有すること
- 研究シーズを有すること（特許取得は必須ではないが、製品の基盤となりえる実証結果やプロトタイプを有していること。加えて、所属機関のTTOと商業化に向けた初期協議を開始していること、またはその同意が得られる見込みがあること。）
- 合計4回実施される3日～5日間程度の対面プログラムに参加できること
- 本プログラムが提供するサービス（オンラインメンタリング等）に参加するための設備・環境を準備可能な方
- 過去のプログラム期間中・終了後のヒアリング・アンケート等に回答いただいていること。また、今後必ず協力いただけること。

※ 本プログラムは経済産業省・JETROが連携して行うプロジェクトであり、随時、フォローアップアンケートや実施過程でのヒアリングを実施します

05 COST-BEARING | 費用負担



参加者による費用負担

- 国内移動費、宿泊費
- プログラム期間中の飲食費、通信費などのその他発生する費用
- その他「主催者JETROによる費用負担」以外のすべての費用

JETROによる費用負担（現物支給）

- 国内プログラム、オンラインのメンタリング・ワークショップ・イベント開催等の各種プログラム料
- ※ 上記は全てJETROにて直接手配します。参加者に上記費用を支払うものではありません。



選考基準

- JETROが実施するその他のプログラムの参加状況、申込内容、海外展開の目的や状態を踏まえて、参加意義が認められること ※次ページに詳細
- メンターならびにJETROがサポート可能であること
- 自身の前提をゼロベースで検証する意欲に加えて、単なる資金獲得の関心ではなく、商業化・スタートアップ創業に対する明確な動機があること
- 本プログラムの参加によって、グローバル展開を前提とした研究シーズの事業化やチーム組成に向けたマイルストーン設定・行動が見込まれること
- 技術の新規性や競争優位性が見込まれること

選考基準：適切なコース選定

■プログラム選定の考え方

各プログラムでは、参加企業が最大限の成果を得られるよう、事業ステージと目的に応じた適切なコース選定を選考基準の一つとしています。

海外展開に向けた課題やニーズは企業ごとに異なるため、自社が「今、何を達成したいのか」から逆算したコース選択を推奨します。

主な参加目的例

- ・ 海外市場におけるPMF検証
- ・ Go-to-Market戦略の精緻化
- ・ 初期トラクションの獲得
- ・ 海外ネットワークの構築

目的が明確でないまま複数のプログラムに参加することは、時間やリソースの分散につながる可能性があります。スタートアップにとって最も重要なリソースである「時間」を有効に活用するため、コース選定の趣旨をご理解のうえご応募ください。

■ 応募前の相談推奨

JETRO Startupチームは、事業ステージや目指す方向性に応じた最適なコース選定の相談を受け付けています。

- ・ 今年度、他のアクセラレーションプログラムに採択されている方
 - ・ 適切なコース選択に迷っている方
- いずれの場合も、応募前にお気軽にご相談ください

マイルストーンタイプ	参加目的	参加条件想定
Explorer(探索)	アイデア段階での方向性検証・市場理解	MVP未満、海外展開意欲あり
Validator(検証)	PoC/MVP段階での市場検証・ユーザーヒアリング	プロダクトあり、仮説検証段階
Scaler(成長)	顧客・投資家獲得、海外展開実行	プロダクト一定成熟、海外進出予定
Connector(特化)	投資家・パートナー連携重視	目的特化(資金調達、提携など)

応募フォーム

2026年9月18日(金) 17:00 (JST) 締切

■ご応募に注意関する注意事項

- ・ 締切後のご応募は、理由の如何を問わず受け付けいたしません
- ・ 締切直前はアクセス集中により応募できない場合がありますので、余裕をもってご応募ください
- ・ 提出後のピッチ内容の修正・差し替えは一切できません

■応募フローについて

- ・ フォーム内にて、ピッチデッキの提出が必要です（形式・方法等は次ページ以降参照）
- ・ 応募内容について、審査を行い、採択可否の通知を行います
- ・ 書類審査とあわせて面談審査（オンライン）を実施する可能性があります
- ・ 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください

ピッチデックの提出方法・プロセス

Step 1 資料準備

・ピッチデックの準備

ピッチデックを事前に作成してください。作成した資料は、GoogleフォームやCanvaなど**権限が付与された閲覧可能なURL**に変換後、**P16の応募フォーム内**にてご提出ください。

※詳細は次頁

Step 2 お申込み

プログラムへの 参加登録、必要情報の記入

必要な情報をご記入の上、**P16の応募フォーム**からお申込みください。

■ピッチデックのURL発行が難しい場合

- URLでの提出が難しい方は、j-starx@jetro.go.jp宛にメールにてご提出ください
- メールの件名は「コース名_所属_名前」とし、本文にプログラム名、所属、氏名を記載の上ご提出ください
(名前の部分にはご自身の名前をご記載ください)

英語ピッチデッキ資料作成にあたっての留意点

以下の留意点を守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください

■ 英語ピッチデッキ資料作成の留意点

- 右欄に示す記載内容を含む形でご作成ください
- 表紙は不要、最大6ページでご作成ください
- ファイルは原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換してご提出ください（ファイルサイズは3MB以下）
- ファイル名は「**コース名_所属_名前.pdf**」としてください
（名前の部分にはご自身の名前をご記載ください）
- **2026年9月18日(金) 17:00（JST）まで**にご提出ください

■ 英語ピッチデッキ資料に記載する内容

プロトタイプについて以下の5項目を必須項目としてスライドに記載してください。また、ご自身のお名前を1ページ目左上にご記載ください

1. 解決したい社会課題とその解決策、市場機会
2. 技術・プロトタイプの概要（写真や図、文章を用いて）
3. 技術・プロトタイプにおけるアピールポイント・強み
4. 研究開発ステージ・現状の課題
5. 事業モデル・事業化に向けた体制（共同創業者像等）

※資料は**英語**でご作成ください

※スライドのデザイン・フォーマットは問いません

1. 本プログラムにおける参加は、原則1チーム1名までとなります（ただし、共同研究者を含む2-3名体制によるチームでの応募・参加も可）。
2. 必要に応じて、面談などにメンターおよびJETRO職員が同行する可能性があります。また、帰国後の成果把握、進捗確認への協力をお願いします。
3. 本プログラムの選考通過後は、JETRO事業の紹介、成果報告のための外部公開をする場合がありますので、ご了承ください。（公開内容は事前に確認を行います）
4. JETROが実施するその他のプログラムの参加状況、申込内容、海外展開の目的や状態を踏まえて、参加意義が認められること ※P. 15参照

免責事項

[J-StarX 利用規約・免責事項](#)をよくお読みの上、応募をお願いします

キャンセル規定

如何なる理由においても、同意書提出後のキャンセルは認められません

キャンセル料、もしくは変更料がJETROに発生する場合は各社・各チームにて負担いただきます

09 CONTACT | お問い合わせ



コース名 J-StarX Deeptech Bridge Commercialisation
Programme (UK)

実施機関 JETRO イノベーション部／スタートアップ課

担当者 若杉・迫田

お問い合わせ [問い合わせフォーム](#)

